

H142 インターネットと人権	
英名科目名	Internet and Human Rights
大学名	京都府立大学
連絡先	学務課 教務担当 TEL: 075-703-5118
担当教員	吉富康成 (環境・情報科学科教授) ほか
開講期間	2021年09月28日(火)～2022年01月25日(火) 4講時 14時30分～16時00分(毎週火曜日) 冬期休業 2021/12/25(土)～2022/01/05(水)
開講形態	後期・秋学期 開講曜日・講時 火曜日 4講時
単位数	2 履修年次
会場	科目開設校キャンパス
授業定員	
単位互換生定員	京カレッジ生定員 10
試験・評価方法	授業への主体的参加状況とレポートで評価する。
超過時の選考方法	書類選考
受講料	67,600円 (入学考査料9,800円、入学金28,200円、授業料29,600円)
別途負担費用	
その他特記事項	
パッケージ科目	
低回生受講推奨科目	
講義概要・到達目標	
<p>< 授業概要 > インターネットは情報革命とグローバル化をもたらし、すでに社会基盤の1つとなっている。経済活動や生活などの利便性向上という点で、インターネットの功績は非常に大きい。その反面、人権の尊重や防犯の点では、インターネットは新たな問題を引き起している。</p> <p>本授業では、インターネット上で起っている人権侵害、犯罪について、心理、法律、教育、実状、対策などの観点から論述する。現状を俯瞰するため、京都府警察本部サイバー犯罪対策課、京都府消費生活安全センター、および、京都府教育庁指導部学校教育課から、それぞれ講師をお招きして、各分野の状況と対策をご講演いただく。そして、社会問題となっている「ネットいじめ」について様々な観点で研究されている、佛教大学 副学長兼教育学部教授 原清治氏、兵庫県立大学 環境人間学部准教授 竹内和雄氏 にご講演いただく。なお、京都府教育庁の講師の講演内容は、「ネットいじめ」に限らず「いじめ」全般を対象とする。</p> <p>< 到達目標 > インターネット上で起っている人権侵害、犯罪について実状を把握すると共に、様々な場面、立場で、ネット社会で身を守るために何が出来るかを理解する。</p>	
講義スケジュール	
第1回 序論：心を蝕むインターネット，ネット人権侵害の基礎知識(吉富康成) 第2回 サイバー犯罪の現状と対策について(京都府警察本部サイバー犯罪対策課) 第3回 インターネットに関する消費者トラブルについて(京都府消費生活安全センター) 第4回 いじめの現状と対策について(京都府教育庁指導部学校教育課) 第5回 スマホ時代に対応した生徒指導・教育相談(兵庫県立大学 竹内和雄) 第6回 インターネットの仕組みと人権侵害(吉富康成) 第7回 ネットパトロールがとらえたSNSの危険性(吉富康成) 第8回 ネット人権侵害，法律と倫理(その1)(吉富康成) 第9回 ネット人権侵害，法律と倫理(その2)(吉富康成) 第10回 ネット人権侵害，法律と倫理(その3)(吉富康成) 第11回 ネット社会での人権教育の現状と課題(吉富康成) 第12回 ネットパトロール技術の現状と課題(吉富康成) 第13回 ネットいじめはなぜ「痛い」のか(佛教大学 原清治) 第14回 ネットヘイトスピーチの現状について(吉富康成) 第15回 総括：ネット社会の道しるべ(吉富康成)	
教科書	第1,6,8～14回 吉富康成 編著「インターネットはなぜ人権侵害の温床になるのか - ネットパトロールがとらえたSNS

	の危険性 - 」, ミネルヴァ書房, 2014。
参考書	第5回 竹内和雄、「スマホ時代に対応する生徒指導・教育相談」、ほんの森出版、2014。 第13回 原清治、山内乾史 編著「ネットいじめはなぜ「痛い」のか」、ミネルヴァ書房、2011。